

一 般 質 問 通 告 書

令和5年5月11日

議 会 議 長 様

議席番号 9 番

議員氏名 伊藤 美佐子

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 自転車用ヘルメット購入に対する補助金制度の導入を	<p>令和5年4月1日から、自転車に乗るときのヘルメットの着用が努力義務化された。この動きを受けて、東京都・埼玉県内でもすでに一部に自治体においては、ヘルメット購入に対する補助金制度が創設されている。</p> <p>快適で安全な自転車運転が図られるよう進めていくことがポイントであると考えているが、以下町の方針を伺う。</p> <p>(1) 安全性の高いヘルメットは、相応の金額になることから、購入を促進するために当町でも補助金制度を創設する考えは。</p> <p>(2) 対象とするヘルメットについては、安全基準の認証を満たすものとする考えは。</p> <p>(3) これまで着用は13歳未満の子どもが対象であったが、全年齢に拡大された。補助対象者の拡大に対する考えは。</p>	<p>町長 副町長 危機管理課長 担当課長</p>
2. 拡充した子育て支援は	<p>(1) 小さく生まれた子ども、低出生体重児用に母子健康手帳に加えて、赤ちゃんと保護者のために作成された「リトルベビーハンドブック」の配付が全国で広がっている。</p> <p>母子健康手帳には、体重は1kg(1000g)、身長は40cmからしか記入できない。母子健康手帳に書きたくても書けない、それは母親にとってあまりにもつらい体験である。生まれてきたわが子に最初にかけて言葉が「おなかの中で大きく育てられなくてごめん」という体験談も耳にしている。</p>	<p>町長 副町長 健康支援課長 子育て支援課長</p>

5月11日 午前・午後 3時15分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
<p>3. 子どもたちの読書環境の拡充を</p>	<p>「小さなからだ、大きないのち、リトルベビーハンドブック」は、体験者の声や専門家のアドバイスも盛り込まれており、寄り添う思いを「かたち」にしたものである。</p> <p>そこで以下伺う。</p> <p>① 全国的にも、低出生体重児の出生率は増加傾向にあるが、杉戸町における現状は。</p> <p>② 杉戸町でも是非、「リトルベビーハンドブック」を配付すべきと考えるが、いかがか。</p> <p>③ 「リトルベビーハンドブック」に代わる町独自の取組はあるのか。</p> <p>(2) 県は子育て世帯支援のため、今年4月1日以降に子どもが生まれた家庭に最大1万円相当のベビーギフトを手渡し・贈呈する「コバトンベビーギフト」の申請受付を開始している。</p> <p>そこで以下伺う。</p> <p>① 町における申請方法やその際の窓口対応の状況は。</p> <p>② 現物を手渡しとしているが、町における受取方法は。</p> <p>③ 県では地域で安心して育児が出来るよう連携するとしているが、町の対応は。</p> <p>平成31年第2回定例会の一般質問から、「セカンドブック事業」について機会あるごとに推進を求めているが、町ではどのように調査研究し、現在に至っているのか、考えを明らかにされたい。</p>	<p>町長 副町長 教育長 社会教育課長 担当課長</p>